



天津小学校だより

8月号
文責 杉木

学ぶことを楽しみ、自他の良さを大切にし、ともに成長する天津っ子の育成

暑さに負けず 行事に頑張る 充実した2学期に！

8月25日が2学期の始業式です。宿題に精いっぱい頑張った子、家族の一員としてお手伝いに頑張った子、地域のいろんな人との協力・つながりに頑張った子、夏休みの思い出はたくさんあることでしょう。新学期に向けて、わくわくを感じている半面、不安に思っている子もいるかもしれません。どうぞ悩みを聞いてあげて、2学期の学習や生活、行事への向き合い方を相談してあげてほしいと思います。大切なのは孤立させないこと。わくわくも不安もみんな同様に感じていて、でも学校に来たらやっぱり楽しいこともたくさんあって・・・。

運動会、社会見学、提案授業、修学旅行、音楽会等々、もちろん普段の授業や休み時間のみんなとの遊び、盛りだくさんの2学期だけど、新学期はまず「スロースタート」で心も体も学校生活に慣らしていきますよ。天津小生活を楽しみましょう。

8/6平和を願う日・平和集会

原爆の被害、恐ろしさを学び、平和への願いを強くするための大切な一日でした。お話いっぱい会のメンバー矢野さん、神蘭さんの「ピカドン竹やぶ」の話は被爆直後、竹やぶに身を置いた人々の苦悩、そして今も残る竹やぶが伝えるものを考えさせてくれました。各学年の平和授業では「しんちゃんの三輪車」や「原爆の火」「折り鶴にこめた願い」等を学習し、核兵器のない世界を子どもたちそれぞれが考えていました。



ピカドン竹やぶの1場面

戦時下の天津小学校日誌が展示されています



「知ってるつもり!?宇佐海軍航空隊」という記念展が宇佐市民図書館二階ギャラリーで開催されています。

今回、なんと戦時下の天津小学校の学校日誌が展示されています。学校保管されていた物の現存最古が昭和20年の日誌でした。

5月に社会教育課取材班より依頼を受け、現物を開帳。部分的な腐食破損もありましたが内容は読むことが出来、終戦時の小学校の様子がうかがえる貴重な記録でした。

空襲警報での退避、勤労生産活動、双葉山が帰郷し全校児童で相撲観戦に行ったことなど。戦争を子どもたちの視点で考えることが出来る展示コーナーでした。

今回、学校日誌が残っていたことの貴重さと、学校の歴史を後世に伝えるための資料としての重要性が展示のまとめに語られていました。

9/27までの展示となっています。

ぜひご観覧ください。